

# 競 技 注 意 事 項

本大会は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。

## 1 練習について

練習は、陸上競技場および雨天練習場を原則とする。（補助競技場使用不可）

### ①メイン競技場

- ・利用時間は、7時の開場から競技開始30分前までとする。
- ・トラックのみ利用を認める。ただし、競技の準備を優先とする。
- ・400mHのハードルは利用可とする。
- ・マーカー、ミニハードル、ハードル等の道具を利用しての練習はできない。

### ②雨天練習場

- ・雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。
- ・雨天練習場へは、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止する。
- ・シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
- ・ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。
- ・ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。
- ・ハードルは使用できない。

### ③フィールド種目の練習について

今大会では補助競技場が使用できないことから、現地での招集完了後、陸上競技場内ピットで練習ができる。ただし、安全面とともに他の競技に影響が出ないように十分に留意すること。また、審判員の指示に従い、準備の妨げにならないようにすること。

### ④トラック種目の練習について

今大会では補助競技場が使用できないことから、以下の時間帯に陸上競技場走路の一部で練習ができる。ただし、安全面とともに他の競技に影響が出ないように十分に留意すること。

#### 【5月2日(土)】

9:15～10:30 第1曲走路やり投げ助走路付近から棒高跳マット前までの約100m

#### 【5月3日(日)】

11:35～14:00 第1曲走路やり投げ助走路付近から200mスタート付近までの約150m

## 2 スパイクシューズの制限について

全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。

## 3 アスリートビブスについて

- ①アスリートビブスは指定された数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。ただし、跳躍競技（走高跳・棒高跳・走幅跳・三段跳）に出場する競技者はどちらか一方でもよい。
- ②トラック競技に出場する競技者は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの左右横や後方につけること。
- ③3000m以上の種目は別ナンバーカードを使用すること。別ナンバーカードは招集所にて配布する。

## 4 招集について

- ①招集場所は第2ゲート付近とする。
- ②招集時刻は競技時間を確認すること。

※1 フィールド種目は、現地で招集を行う。

※2 参加人数の多い種目については、段階的に招集を行うので、競技時間に記載している招集開始時刻、招集完了時刻を確認すること。

③招集完了時刻に遅れた競技者は棄権とみなす。

④リレーのオーダー表は招集完了時刻の1時間前までに招集場所に提出すること。オーダー用紙は招集場所で受け取ること。

⑤2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ競技者係に申し出ること。

## 5 競技について

①競技順は、プログラム記載の番号順とする。

②競技者以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。

③短距離走では選手の安全のため、決勝線到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。

④トラック競技において、同記録者がでた場合は、写真判定主任により写真を拡大し細部（電気時計1/1000）まで読み取り、着差の判定をする。ただし、着順優先とし、各組上位者を次のラウンドに進出させる。

⑤レーンで行う競技種目で棄権者があつた場合は、そのレーンをあける。

⑥リレー競技のマーカ―は各チームで用意すること。マーカ―の使用は1カ所のみとし、使用したマーカ―はそのチームで処理する。

⑦予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で表す。

トラック競技の決勝については、主催者側が公平に抽選をし、その結果を番組編成表示板に掲示する。

⑧競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。

⑨三段跳の踏み切り板の位置は、男子11m、女子9mとする。

⑩競技者は、携帯電話等の通信機器・ビデオ・デジタルカメラ等を競技エリア内に持ち込むことはできない。コーチエリア付近（エリア指定あり）で競技者に手渡して映像を見せることができる。競技者が指定エリア外に機器等を持ち込むことはできない。なお、スタンドから撮影機器を手渡しすることは禁止とする。コーチエリアでのコミュニケーションが終了したら、速やかにコーチエリアから出ること。

## 6 競技用具について

①競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。ただし、やりは検査において合格したものに限り使用が認められる。個人所有のポールの検査は最終点呼時に跳躍審判が行い、やりの検査は競技開始60分前に第1ゲート倉庫付近で行う。

②練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んではいならない。

## 7 競技場への入退場について

種目別入退場口は以下の通りとする。各ゲートへは競技場外周を利用して移動すること。

第1ゲート：第1・2コーナー付近からスタートするトラック競技および2000mSC・3000mSC

第2ゲート：棒高跳・投てき競技

第3ゲート：走高跳

第4ゲート：第3・4コーナー付近からスタートするトラック競技および走幅跳・三段跳

## 8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方（ただし、天候等により変更あり）

		練習		以降
走高跳	男子	135	140～180まで5cm刻み	180cm以降3cm刻み
	女子	115	120～150まで5cm刻み	150cm以降3cm刻み
棒高跳	男子	240	261～341まで20cm刻み	341cm以降10cm刻み
	女子	180	201～281まで20cm刻み	281cm以降10cm刻み

## 9 表彰

各種目（一般種目のみ）3位までの入賞者に賞状を授与する。

※1 表彰式は行わない。1～3位までの入賞者は、中央エントランスホールに賞状を取りに来ること。

※2 各種リレー競技の1位のチームには5枚、2・3位には各1枚賞状を授与する。

## 10 その他

①やむを得ず棄権するときは、競技者係まで必ず届け出ること。

②応急処置を要する健康上の問題が発生したときは、スタンド下の救護室に連絡すること。

③更衣室については、大会受付後方スタンド内通路に入って右側にあるので利用してもよい。

④記録の掲示については、競技終了後、大型映像で表示する。陸上競技場正面玄関付近での記録掲示は行わない。なお、記録速報を愛媛陸協HPから確認できる。

### ○競技会で使用される主な略号について

日本語表記	略号
欠場	DNS
途中棄権	DNF
記録なし	NM
失格	DQ
標準記録突破による通過者 または順位による通過者	Q
記録による通過者	q
愛媛県新県記録（愛媛県タイ記録）	PR（=PR）
愛媛県高校新記録（愛媛県高校タイ記録）	PHR（=PHR）
愛媛県中学新記録（愛媛県中学タイ記録）	PJR（=PJ）
大会記録	NGR

## 愛媛選手権参加資格について

- ① 2026年度各地区陸上競技選手権大会において3位以内に入賞した者。※ただし、その種目に限る。  
 ② 2025年4月1日～2026年6月26日までに下記の標準記録（公認記録）に到達している者。

## 愛媛選手権参加標準記録

男 子		女 子	
種 目	記 録	種 目	記 録
100m	11" 30	100m	13" 30
200m	23" 50	200m	27" 50
400m	52" 50	400m	1' 04" 50
800m	2' 04" 00	800m	2' 28" 00
1500m	4' 20" 00	1500m	5' 15" 00
5000m	15' 45" 00	5000m (3000m)	18' 45" 00 (10' 45" 00)
10000m (5000m)	36' 00" 00 (16' 00" 00)		
110mH (1.067m)	17" 50	100mH (0.840m/8.50m)	18" 00
400mH	1' 01" 50	400mH (400m)	1' 15" 00 (1' 06" 00)
3000mSC	10' 25" 00	2000mSC (0.762m)	基準を設けない
5000mW	基準を設けない ※下記参照	5000mW	基準を設けない ※下記参照
4×100mR	45" 00	4×100mR	54" 00
4×400mR	3' 35" 00	4×400mR	基準を設けない
走高跳	1m 70	走高跳	1m 45
棒高跳	3m 40	棒高跳	2m 00
走幅跳	6m 20	走幅跳	4m 80
三段跳	12m 70	三段跳	9m 50
砲丸投 (7.260kg)	9m 50 (11m 50)	砲丸投 (4.000kg)	9m 00
円盤投 (2.000kg)	27m 00 (28m 00)	円盤投 (1.000kg)	26m 00
ハンマー投 (7.260kg)	30m 00 (35m 00)	ハンマー投 (4.000kg)	23m 00
やり投	48m 00	やり投	30m 00

男子10000m の ( )・・・5000mの記録、女子 5000m の ( )・・・3000mの記録  
 女子 400mHの ( )・・・400mの記録、男子 投てき種目 の ( )・・・ジュニア用の記録

※男子5000mW・女子5000mW、については下記の通り制限時間を設ける。下記の時間を越えて最終周回に入らない。

男子5000mW：25分、女子5000mW：30分、